

週間市場レポート (2021年4月19日~4月23日)

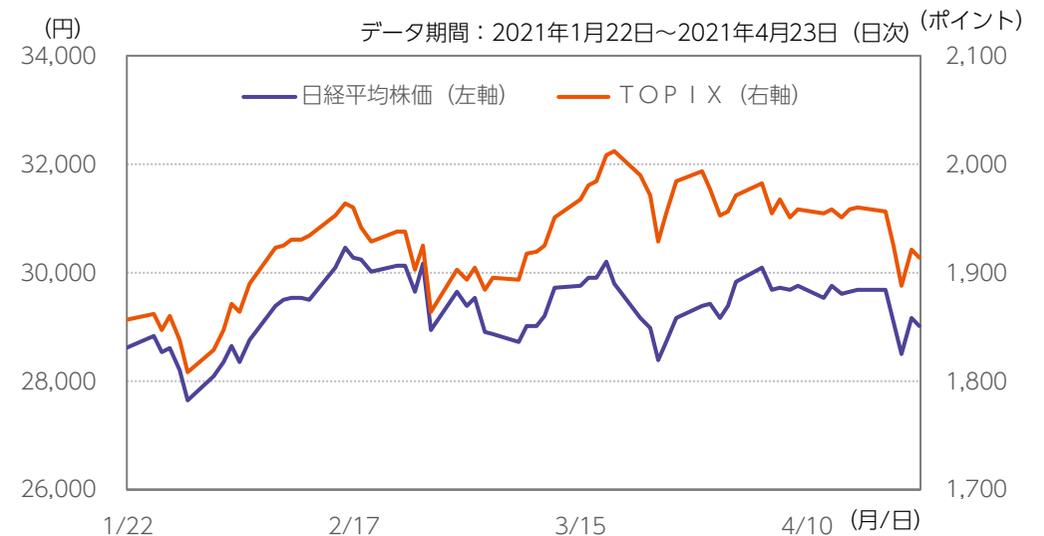
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/4/16	先週末 2021/4/23	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		29,683.37	29,020.63	▲ 2.23 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,960.87	1,914.98	▲ 2.34 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		34,200.67	34,043.49	▲ 0.46 ↓
S & P500種指数		4,185.47	4,180.17	▲ 0.13 ↓
ナスダック総合指数		14,052.34	14,016.81	▲ 0.25 ↓
ユーロ・ストックス50指数		4,032.99	4,013.34	▲ 0.49 ↓
S & P/ASX300指数		7,057.31	7,055.17	▲ 0.03 ↓
上海総合指数		3,426.62	3,474.17	1.39 ↑
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,071.46	1,075.25	0.35 ↑
東証REIT指数		2,063.27	2,051.38	▲ 0.58 ↓
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		803.58	818.46	1.85 ↑
ASX300 REIT 指数		1,481.20	1,462.30	▲ 1.28 ↓
グローバルREIT (除く日本)*		191.15	193.38	1.17 ↑
日本10年国債 (%)		0.093	0.071	▲ 0.022 ↓
米国10年国債 (%)		1.580	1.558	▲ 0.022 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.262	▲ 0.257	0.005 ↑
英国10年国債 (%)		0.764	0.744	▲ 0.020 ↓
ドル/円		108.80	107.88	▲ 0.85 ↓
ユーロ/円		130.36	130.49	0.10 ↑
英ポンド/円		150.49	149.72	▲ 0.51 ↓
豪ドル/円		84.15	83.56	▲ 0.70 ↓
フィラデルフィア半導体指数		3,253.08	3,196.98	▲ 1.72 ↓
WTI原油先物 (ドル)		63.13	62.14	▲ 1.57 ↓
CRB指数		193.21	196.06	1.47 ↑

2) 日本の株式・債券市場

◀ 株式 ▶

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落となりました。新型コロナウイルスの感染再拡大を受け、大阪府に続き、東京都や兵庫県などに緊急事態宣言が発令される見通しとなり、月末からの大型連休の経済活動が大幅に制限され、景気回復が遅れるとの懸念から、鉄鋼などの景気敏感株を中心に大幅下落となりました。一方、2日間で1,000円以上下落したことから、週末にかけては、値ごろ感から押し目買いもありました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

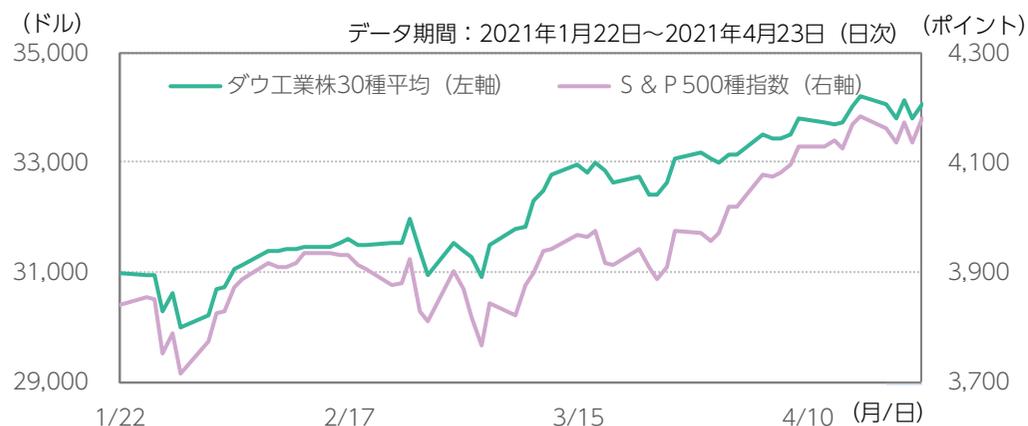
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。国内で新型コロナウイルスの感染が再拡大し、東京都などに緊急事態宣言が発令される見通しとなったことから、相対的に安全資産とされる債券は買いが優勢となりました（利回りは低下）。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

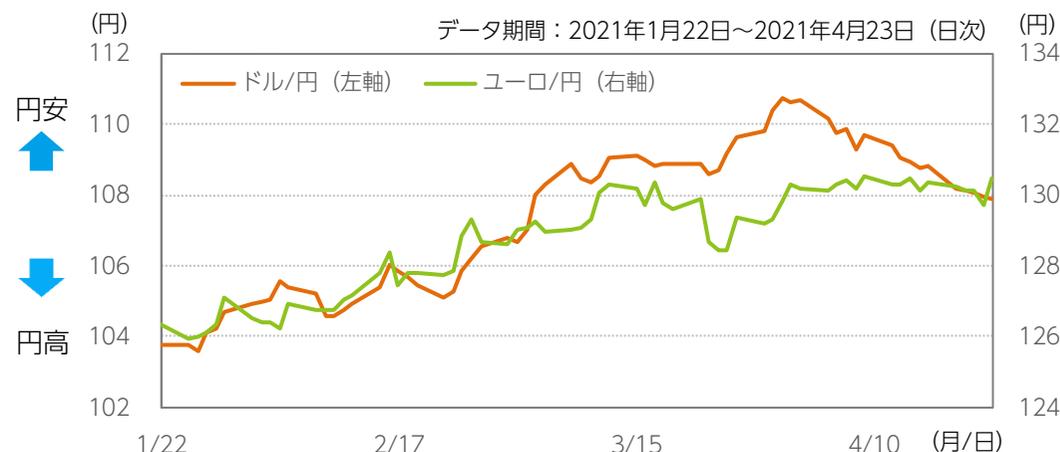
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。各国で新型コロナウイルスの感染が再拡大していることや、バイデン政権の富裕層への増税報道から売りが優勢となる場面がありました。しかし、下落翌日には、景気敏感株を中心に買い戻しが入ったことや、週末には増税への過度な懸念が後退し小幅に反発しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。国内外で新型コロナウイルスの感染が再拡大し、投資家のリスク回避目的の円買いが進みました。また、1.6%台まで上昇していた米長期金利が1.5%台まで低下し、日米金利差が縮小したことも、円買い米ドル売り要因となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、国内外での新型コロナウイルスの感染が再拡大による、景気回復の停滞懸念が意識され、前週末比で下落となりました。

23日（金）に政府は、感染状況が悪化する東京や大阪などの4都府県に対し、4月25日～5月11日の期間を対象に『緊急事態宣言』を発令しました。酒類を提供する飲食店のみならず、大型商業施設やテーマパークなどにも休業を要請しており、『まん延防止等重点措置』と比較して制限が広範囲にわたるため、経済活動が大きく停滞することが懸念されています。

今週は、米大手ハイテク企業や国内の主要企業の決算発表が集中します。多くの企業で好業績が期待される一方、感染再拡大などを背景に、一部の企業が業績見通しを下方修正することも予想されることから、今週の株式市場は日米両市場ともに、決算結果および業績見通しを受け、一進一退の展開となると予想します。

次回の発行は、5月10日（月）となります。



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>